

# 新極真会

## 道場訓

一、吾々は心身を錬磨し、**確固不拔の心技を極める事。**

私達が空手を稽古する目的は、技や身体だけでは無く心も同時に鍛える目的があります。稽古に打込む事でどんな状況でも動じない強い心と強い身体を修得して行かなければいけません。

一、吾々は武の神髓を極め、**機に発し感に敏なる事。**

私達は武士道の意味を理解し実践して行かなければいけません。状況に合わせて素早く対応し相手の気持ちや出来事に対して敏感に反応できる気配りを持てるようにしましょう。

一、吾々は質実剛健を以って、**克己の精神を涵養する事**

私達は、物や形に捕われず自分の心の中に強い信念を持てるよう稽古を通じ努力しなければなりません。稽古を積む事によって自分の弱さを制する強い意志と正しい心を育てる事が出来るのです

一、吾々は礼節を重んじ、**長上を敬し粗暴の振る舞いを慎む事。**

私達は空手の技を覚えたからといって無闇にその技量を誇示してはいけません。稽古を積み重ねれば積む程自分の弱さを知り素直に他人の言葉を受け入れる向上心と器量を養いましょう。親や先輩の意見を聞き、感謝と礼の気持ちを持つるように心掛けますよう

一、吾々は神仏を尊び、**謙譲の美德を忘れざる事。**

私達は自然や世の中のルールを無視してはいけません。独りよがりにならず自分は生かされているという自覚を持つことで、相手や周りの人達の気持ちを理解し、すべての事柄と調和できる人格が養われるのです。

一、吾々は知性と体力を向上させ、**事に臨んで過たざる事。**

私達は心技体を同時に鍛えるように心掛けて稽古に励む事が大切です。心技体を万遍なく鍛える事で人生に起こりうる全ての出来事に対応できる強さが身につくのです。

一、吾々は生涯の修行を空手の道に通じ、**極真の道を全うする事。**

空手の稽古は技量だけを高めるのが目的ではありません。稽古を通じて学んだ事を生活や生き方に投影し修行を続けましょう。それが極真空手を稽古する目的なのです。